

平成30年度当初予算
部局別要求方針

監査委員事務局

部局別予算要求方針

1 30年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

人口減少にともなう税収の減少や交付税縮減など市の財政状況は今後ますます厳しくなることが見込まれるなか、様々な行政課題に対し重点的で効率的な市政運営に市民の関心が高まってきている。このような状況のもと、監査委員監査においても、法令遵守はもとより経済性、効率性、有効性といった視点を重視した業務監査のより一層の追及など、監査機能を発揮し、市民に対して十分な説明責任を果たしていくことが求められる。

公会計の導入や多様化していく行政課題に対し、より有効で効率的な監査を行うため、監査委員及び事務局職員一人ひとりが十分な知識を習得し、実行力のある監査を行っていく必要がある。

2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

(優先すべき事業)

- ・各都市監査委員会が主催する研修会に参加する。

(事業の必要性)

- ・実行力のある監査を行うため、監査委員及び事務局職員の専門的な知識・技術の習得、資質向上を目指すため。

3 事務事業の再構築(事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果)